



この町で、この地で笑って老いたい ~そのために今すべきこと~

【まち協だより】

令和6年4月号

電話(FAX) 82-0933

発行: 山上まちづくりの会事務局

『第19回山上まちづくりの会 総会開催』

●第19回総会が4月12日金曜日、山上地域振興センター第3会議室で開催されました。今年度の報告の後、新年度に向けて新体制が決まりました。大きく変わるのは厚生体育部と広報部がなくなることです。体育事業はまち協の事務局が窓口となり町スポーツ委員と事務局が運営します。広報活動は事務長と集落支援員が行います。広報活動では各部の事業PRのサポートも行い、事務負担軽減の協力もしていく予定です。



総会の様子

常任委員	令和6年
会長	木村 正史(佐木谷)
副会長	(代)山影 明也(福寿実) 高橋 秀紀(茶屋) 大塚 功(福万来) 木下 和夫(笠木)

●令和6年4月1日時点の山上地区の人口は458人、209世帯、高齢化率57.9%です。令和2年からの4年間で人口が72人減少し高齢化しています。自治会も同様ですが、山上まちづくりの会も取り組むべきことの優先順位を決め、内容も継続していけるように地域の体力にあうように変えていかなければならない時期に来ています。『この地で笑って老いる』ため(※5か年計画のテーマ)皆様のご理解とご協力をお願いいたします。令和6年度山上まちづくりの会の常任委員は表のとおりです。詳細は『大草山だより』5月号で報告いたします。

文責: 事務長柴田



【雷彦三イラスト展のご案内】

茶屋出身 三上成彦 (雷彦三 かみなり ひこぞう)さんのイラスト展が4月26日(金)から5月12日(日)まで日南町美術館にて開催されます。入場無料。懐かしい昔の山上の風景が心によみがえります。詳細は日南町美術館発行の黄色いチラシをご覧ください。



【スペシャル手品ショーのご案内】

去年の山上文化祭に出演し楽しませていただいた、「米子マジック同好会」の皆さんが、5月5日(日)にスペシャル手品ショーを開催されます。会場は米子市児童文化センター(Tel0859-34-5455 湊山公園内・米子市西町133番地)で時間は13時~15時の2時間です。たくさんのマジシャンが出演します。この日は連休のこどもの日です、都合のつく方はぜひ楽しんでください。

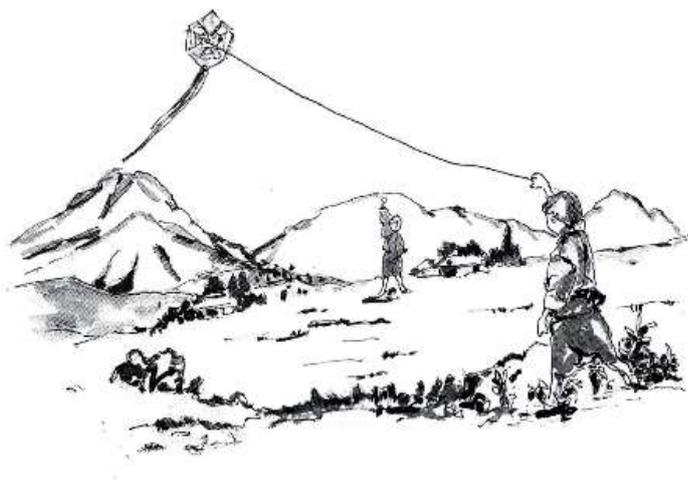
心揺れる日々 前編

両親は、岩雄の将来についていろいろ考
えましたが、山村の小さな神社の神主では
暮らしはそんなに楽ではなく、岩雄にたく
さんの学資をつぎこむことはできそうに
もありません。そこで学資の心配がいらな
い師範学校に入れることがいちばん良い
だろうということになりました。そうすれ
ば学校の先生になることができるので、や
がて神主になった時にも暮らしが楽にな
るだろうと思われたのです。

両親は、岩雄に師範学校入学を一生懸命
勧めましたが、岩雄は、「わかっていますよ」
というだけで、本人はいっこうにそのため
の準備をしようとはしません。

大宮の森をぐるっとまわったところに
北垣儀平さんという測量を仕事にしてい
る、年の頃三十才ほどの人が住んでいまし
た。儀平さんは絵がうまくて、測量の仕事
が無いときには、村の人たちに頼まれて節
句にたてるのぼりに武者絵（五月にたてる
のぼりの侍姿の絵）を描いたりしていまし

儀平さんとの出会い



た。絵の好きな岩雄は、ときどき、儀平
さんのところに出かけていって、武者
絵を描く儀平さんをじっとみつめてい
ましたが、そのうち、いつしか武者絵を
手伝って描くようになりました。

儀平さんは、大人しくて口数の少な
い人だったので、岩雄とは気が合った
ようで、晴れた日には、わずかばかりの
給金をもらって、測量棒を担いで儀平
さんの測量の手伝いをして回るようにな
りました。

あるとき、暇を持って余していた岩雄は、
裏の竹藪から切り出してきた竹を細く削
ってひごを作りました。そして、障子紙を
持ち出すと紙いっぱい武者絵を描きは
じめました。儀平さんのところならつた
武者絵です。みるみるうちに立派な武者絵
ができあがっていきます。竹ひごを曲げ、
組み合わせて武者絵を貼り付け、糸をつ
けると凧のできあがりです。二人の弟の凧も
できました。できあがった凧をもって、岩
雄は宮の前の高台にあがっていききました。
空は気持ちよく晴れて、どこまでも高く
広がっています。

武者絵の凧は岩雄の手を離れて、するす
ると高く上がっていきます。糸が伸びるの
に合わせてするするとあがっていくと、糸
のさきについた武者絵が空を自由に動き
まわっているように思えるのです。

なんと高い空なのでしょう。なんと広い
空なのでしょう。岩雄は何もかも忘れて、
高い空の上で揺れている小さな凧の姿を
目で追い続けるのでした。

遊びに夢中になっている岩雄を見て、両親は、
すっかりしてきたと思っただけは間違
いだっただろうかと不安になりました。